

 高知県立大学「県民大学」学生プロジェクト

「立志のたまご」

2019 年度後期 募集要領

2019 年 9 月 19 日

高知県立大学地域教育研究センター

地域に学び、地域で育つ学生たちの教育プログラム

「立志社中」「立志のたまご」とは

本学は「県民大学」というスローガンを掲げています。県民にとって親しみやすい大学、県内の地域が抱える課題に県民と協働して取り組む大学、地域再生の核として、生涯学習の拠点として「知」を「地」に活かす大学など、「教育、研究、社会連携」のすべてにおいて「県民とともにある大学」という想いを込めています。

地域の活性化を目指す学生たちの主体的な取り組みである「立志社中」は、「県民大学」に位置付く事業です

高知県は多くの有為な人材を生み、若者たちは世界へと飛び立っていきました。日本で、そして世界で通用する人材を本学で育てたいという想いを込めて、坂本龍馬の「亀山社中」（後の海援隊）と、板垣退助らの「立志社」をあわせて、本事業を「立志社中」としました。「社中」には、「仲間」「結社」という意味があります。つまり、「立志社中」とは、「将来の目的を定めて、これを成し遂げようとする学生グループ」という意味です。

「立志社中」とは、

- 地域の課題に高い関心を持った学生が、地域の方々と協働して取り組む。
- 学生が地域の方々と一緒に活動することを通じて、学内だけでは学べないことを学ぶ。
- 大学と地域が共同して、よりよい地域づくり・人づくりにつながるしくみをつくる。

の3つの目標を掲げ、地域と関わる演習、フィールドワーク、研究室活動、学生活動等の実績を土台にしながら、地域活性化に取り組む学生主体のプロジェクトを公募、審査し、支援するものです。

募集テーマは、まちづくり、中山間地域の活性化、地域文化の継承・再生、産学連携、地域医療・福祉、小・中・高大連携、行政・企業・県民のネットワークづくり、などです。

本事業の趣旨を理解し、これまで取り組んできた地域での活動を発展させた学生チーム、この機会に新たに地域課題にチャレンジしたい学生チームなど、学部、学科、研究室を超えたさまざまな学生チームの参加を期待しています。

「立志のたまご」とは、次年度に「立志社中」の新プロジェクトとして申請することを
目指し、プロジェクトの立ち上げ準備期間を大学が支援するものです。

2019年度「立志のたまご」募集要領

1. 募集するプロジェクト

域学共生を目的として、「地域文化の振興・再生や地域の課題解決」のために意欲をもって取り組む本学学生グループが、主体的に企画・実施する以下に掲げる取組みであつて、かつ、成果が見込まれるプロジェクトを募集します。ただし、政治、宗教、営利を目的とした活動は除外します。なお申請時において対象とする地域や課題解決の手法が必ずしも決まっている必要はありません。

- (1) 学部学科を超えた横断的な取組み
- (2) 行政・企業・県民のネットワークづくり
- (3) 中山間地域をはじめ地域活性化のための活動拠点づくり
- (4) まちづくりや地域おこしなど地域経済の活性化につながる取組み
- (5) その他、地域と連携した活性化への取組み

2. 募集内容および支援内容

(1) 概要

①対象となる活動

- ・ 本学の教員、学生等で構成される教育研究活動
- ・ 本学教員の指導のもとに、主体的に活動する学生グループの活動
- ・ 行政やNPO等の支援を得て、主体的に活動する学生グループの活動
- ・ その他、地域活性化に取り組む学生グループの活動

②応募資格

域学共生を目的とした活動に対して意欲をもって取り組む本学の学生グループ

※ただし、各グループには1名以上の担当教員を含むものとします

③主な支援内容

- ・ 1プロジェクト5万円を限度とする活動経費の助成
- ・ 活動の相談、指導・助言、広報などの活動支援
- ・ 能力開発、スキルアップのための講座の実施

④対象となる経費

- ・ 旅費 交通費（JR・路線バス等公共交通機関運賃、自家用車ガソリン代、レンタカー借上代及びガソリン代等）および宿泊費

⑤対象とならない経費

- ・ 旅費以外の全経費 消耗品費、賃借料、通信運搬費、役務費、印刷製本費、研修費、コピー代、人件費、飲食費（手土産、試作・交流等に係る経費を含む）等

⑥採択件数

3 件程度

(2) 助成期間

採択が決定した日から 2020 年 2 月末日までの活動を対象とします。

(3) その他

経費の使用は、「立志のたまご活動助成金執行マニュアル」にもとづいて執行してください。

3. 募集説明会

申請しようとする学生グループは立志社中事務局に連絡し必ず説明を受けてください。

なお説明はグループごとに行います。時間調整を行いますので、「8.お問い合わせ先」に記載の立志社中事務局へメールにてご連絡ください。

4. 応募方法

(1) 応募方法

応募書類（①～③）に必要事項を記入・押印し、データ（USB 等で持参）と共に 1 部提出してください。

(2) 応募期間

2019 年 9 月 19 日（木）から 2019 年 10 月 15 日（火）17 時まで

(3) 応募書類の配布場所

地域教育研究センターのホームページからダウンロードしてください。

（URL：<http://www.u-kochi.ac.jp/site/aeru/>）

(4) 応募書類の提出先

地域教育研究センター「立志社中」事務局（永国寺キャンパス地域連携棟 3 階）

受付時間 8：30～17：00（土日・祝祭日を除く）

(5) 応募書類の取扱い

提出された応募書類および参考資料等は返却しません。また、必要に応じて複写し、資料として活用します。

(6) 事前ヒアリング

立志社中事務局による事前ヒアリングを実施し、提出予定の応募書類の内容について確認します。助成対象となるかどうかの相談も併せて受け付けますので、必ず行ってください。グループごとに個別調整のうえ実施しますので、「8.お問い合わせ先」に記載の立志社中事務局へメールにてご連絡ください。

5. プロジェクトの審査

(1) 審査方法

応募されたプロジェクトの審査は、立志社中運営委員会による書類・面接審査を実施し、採択プロジェクトを決定します。なお面接審査は2019年10月19日（土）に行い、実施時間は応募締切後にご連絡します。

(2) 審査項目

「立志社中」の趣旨及び本学の取組みに沿った提案の中から、以下の審査項目にもとづいて審査します。

継続性	地域等との関わりを持ち、それぞれの地域特性を活かし、地域に根ざした継続的活動プログラムであるか。
独自性	取組みのテーマや方法がユニークで特色があり、創意工夫がみられるか。
実現性	事業計画・運営組織など、事業としての実現可能性を持っているか。実行可能な方法や体制、適切な予算で事業立案されているか。
発展性	採択を受けることで、団体や活動自身が発展する可能性があるか。また将来的に「立志社中」プロジェクトに発展する意欲が見られるか。

(3) 審査結果の公表

2019年10月21日（月）15時頃

※代表者へのメール通知および地域教育研究センターのホームページで発表を行い、後日文書で通知します。

(4) 審査結果の開示について

審査結果は、高知県公立大学法人が管理する公文書の開示等に関する規程にもとづく開示請求があった場合には、開示の対象となります。なお、個人を特定するもの、その他正当な利益を害すると認められる情報は非開示となります。開示・非開示の判断は、規程に基づき客観的に判断します。

高知県公立大学法人が管理する公文書の開示等に関する規程

(<https://www.kppuc.ac.jp/regulations/rule/41.html>)

6. 採択までのスケジュール

応募期間	2019年9月19日（木）から2019年10月15日（火）
募集説明会	随時実施
事前ヒアリング	随時実施
募集締切	2019年10月15日（火）
面接審査	2019年10月19日（土）
審査結果の公表	2019年10月21日（月）

7. 採択後について

(1) 活動説明会

事務局から採択されたプロジェクト（以下「採択チーム」という）の代表者と会計責任者に、経費の使用法やその他の連絡事項の説明を行います。日時、場所については採択後に調整します。

(2) 活動成果報告

採択チームは、事業が終了した場合は、速やかに報告書等を学長に提出するとともに、活動成果報告会（2020年3月8日（日）予定）に出席し、報告会後のポスターセッションにおいて進捗状況を報告し、経費の使用状況について報告する必要があります。

(3) 代表者会

採択チームの代表者及び会計は、各チーム間の情報交換や事務局との連絡調整のため、代表者会に出席し、各チームのメンバーに共有する必要があります。

8. 問い合わせ先

応募にあたっての相談・質問は何でも承ります。
お気軽にご連絡ください。

地域教育研究センター「立志社中」事務局

担当 石田、宗石

〒780-8515 高知市永国寺町2番22号 永国寺キャンパス地域連携棟3階

TEL 088-821-7125 FAX 088-821-7126 Mail risshi@cc.u-kochi.ac.jp